



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月22日

上場会社名 株式会社ブロンコビリー

上場取引所 東 名

コード番号 3091 URL <https://www.bronco.co.jp/corporate/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阪口 信貴

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 コーポレート本部長 (氏名) 桑原 康弘

TEL 052-857-4129

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	7,284	11.6	532	△31.5	553	△30.3	373	△29.3
2024年12月期第1四半期	6,527	15.7	777	161.8	793	152.8	527	180.3

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 399百万円 (△25.6%) 2024年12月期第1四半期 536百万円 (182.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	25.08	25.02
2024年12月期第1四半期	35.47	35.39

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	24,590	20,285	82.2
2024年12月期	24,520	20,074	81.6

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 20,208百万円 2024年12月期 19,997百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期 (予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	14,300	12.7	1,400	14.6	1,430	14.5	910	10.5	61.17
通期	29,500	10.8	3,000	18.5	3,080	18.5	1,870	9.0	125.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 1 Q	15,079,000株	2024年12月期	15,079,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	203,559株	2024年12月期	203,559株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 1 Q	14,875,441株	2024年12月期 1 Q	14,865,114株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 金額の表示単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度および前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、「食を通じて人を幸せにしたい」という想いを込めて、「ご馳走カンパニー」の実現という長期ビジョンを掲げ、持続的な付加価値創造と企業価値向上に取り組んでおります。

当第1四半期の経営環境は、堅調な企業業績、雇用や所得環境の改善など、緩やかな回復傾向が継続しておりますが、米国政策や為替相場の動向、原材料の価格高騰、物価上昇に伴う節約志向、消費マインド冷え込みの懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましても、人流の回復に加え、インバウンド需要の拡大含め、外食需要は総じて堅調に推移いたしました。そして、人手不足の常態化とともに、人件費やエネルギー価格の上昇、継続する原材料価格の高騰など、引き続き厳しい経営環境が続いております。

こうした状況下、当社におきましては、原材料の調達幅を広げ、数量限定での高品質なお買い得ステーキの投入を通じ、引き続き高付加価値商品の魅力を提供してまいりました。さらに、高品質商品を期間限定の特別価格で販売することで客単価と客数増加に努めてまいりました。また、従業員の採用と定着及び教育を着実に進めることで、お客様へ提供する商品サービスの品質をさらに改善してまいりました。

さらに、「かつ雅」等のとんかつ専門店を展開しております子会社の株式会社レ・ヴァンでは、地元に着目したブランド力と実績が当社の「とんかつ業態」の愛知県下での営業基盤を確固たるものにできるとともに、レ・ヴァンにおいても当社グループの食材調達力・工場加工力を活用することで収益力の向上に繋がると考えております。シナジー効果を発揮し「とんかつ業態」の成長基盤を固め、当社グループ一層の成長を目指してまいります。

また、子会社の株式会社松屋栄食品本舗では拡張された当社向けの製造ラインにより、当社店舗向けの松屋栄食品本舗全体での製造割合は5割を超え、更なる商品品質向上と店舗数増加に対応できるようにグループとしての生産体制を強化しております。

そして、店舗面では既存店の強化に取り組むとともに、「ブロンコビリー」の北関東2店舗目として群馬県に1店舗(太田店)を開店いたしました。その結果、店舗数はステーキ・ハンバーグ業態「ブロンコビリー」140店舗、とんかつ業態「かつひろ」、「かつ雅」等14店舗、居酒屋業態「信貴や」1店舗のグループ合計155店舗となっております(2025年3月末日現在)。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は72億84百万円(前年同期比11.6%増)、営業利益は5億32百万円(前年同期比31.5%減)、経常利益は5億53百万円(前年同期比30.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億73百万円(前年同期比29.3%減)となりました。

なお、当社グループは飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は245億90百万円(前連結会計年度末245億20百万円)となり、69百万円増加いたしました。その主な要因は、流動資産の現金及び預金が1億24百万円、売掛金が2億73百万円、新規出店等により有形固定資産が93百万円増加し、原材料及び貯蔵品が4億12百万円減少したことなどによるものであります。

(負債)

一方、負債合計は43億5百万円(前連結会計年度末44億46百万円)となり、1億40百万円減少いたしました。その主な要因は、賞与引当金が2億15百万円増加し、買掛金が64百万円、未払法人税等が3億4百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産合計は202億85百万円(前連結会計年度末200億74百万円)となり、2億10百万円増加し、自己資本比率は82.2%(前連結会計年度末81.6%)となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加と配当金の支払い等により利益剰余金が1億84百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

当第1四半期については、客単価増に対して来店客数を前年同期と同等水準を維持し、売上高は好調に推移しております。一方、利益面につきましては、今後さらなる業績拡大に向けた人的資源への積極的な先行投資を行ったことにより人件費は増加しましたが、アメーバ経営による徹底したコストコントロールにより、営業利益はじめ各利益は上期および通期の連結業績予想に対する乖離は最小限に止められております。

現状の進捗状況に基づき、今後の連結業績予想の修正を検討する状況であると認識しておりますが、資源価格や原材料の仕入価格の高騰等の様々な要因を明確に予想することは現時点で困難な為、2025年1月21日に公表いたしました連結業績予想を据え置き、第2四半期決算発表時に通期見通しを開示する方向で検討してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,388	7,513
売掛金	1,047	1,320
商品及び製品	224	148
原材料及び貯蔵品	939	527
前払費用	231	234
その他	62	68
流動資産合計	9,893	9,812
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,055	7,106
機械装置及び運搬具(純額)	130	126
工具、器具及び備品(純額)	576	586
土地	2,784	2,784
その他	96	132
有形固定資産合計	10,642	10,736
無形固定資産	248	237
投資その他の資産		
投資有価証券	168	206
長期預金	2,000	2,000
差入保証金	1,137	1,142
その他	430	455
投資その他の資産合計	3,736	3,804
固定資産合計	14,627	14,778
資産合計	24,520	24,590
負債の部		
流動負債		
買掛金	789	724
短期借入金	55	137
リース債務	28	28
未払金	1,291	1,280
未払法人税等	564	260
契約負債	173	222
賞与引当金	76	292
販売促進引当金	129	129
株主優待引当金	41	22
その他	585	500
流動負債合計	3,735	3,598
固定負債		
リース債務	249	242
資産除去債務	455	458
その他	5	5
固定負債合計	710	706
負債合計	4,446	4,305

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,210	2,210
資本剰余金	2,132	2,132
利益剰余金	16,071	16,255
自己株式	△463	△463
株主資本合計	19,951	20,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46	72
その他の包括利益累計額合計	46	72
新株予約権	77	77
純資産合計	20,074	20,285
負債純資産合計	24,520	24,590

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	6,527	7,284
売上原価	2,141	2,496
売上総利益	4,385	4,788
販売費及び一般管理費	3,607	4,255
営業利益	777	532
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	0	0
受取賃貸料	8	7
協賛金収入	10	8
その他	3	8
営業外収益合計	24	28
営業外費用		
支払利息	0	0
賃貸費用	5	5
その他	3	2
営業外費用合計	9	7
経常利益	793	553
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	793	552
法人税、住民税及び事業税	299	221
法人税等調整額	△33	△41
法人税等合計	265	179
四半期純利益	527	373
親会社株主に帰属する四半期純利益	527	373

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	527	373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	26
その他の包括利益合計	9	26
四半期包括利益	536	399
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	536	399

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	206百万円	217百万円
のれんの償却額	1	1

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。